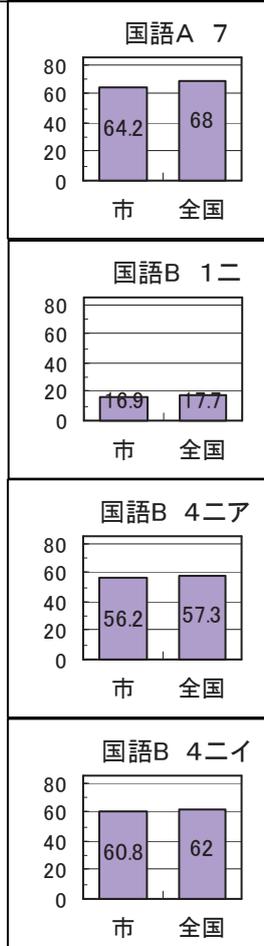


小学校国語

【 関心・意欲・態度 】

◇正答率からみた現状

	設問	出題の趣旨	市	全国	差
A	7	司会の役割や働きをとらえて、話し合いを計画的に進める。	64.2	68.0	-3.8
B	1二	目的や意図に応じて、事象や意見などを関連付けながら書く。	16.9	17.7	-0.8
	3二(1)	目的や意図に応じて、自分の考えをまとめる。	63.6	62.6	1.0
	3二(2)		51.9	50.9	1.0
	4ニア	目的や意図が分かるように話の組立てを工夫しながら説明する。	56.2	57.3	-1.1
4ニイ	60.8		62.0	-1.2	



☆国語 A「知識」に関する問題

- 7は司会の進め方の良いところを説明する問題である。
司会の役割や働きをとらえて話し合いを計画的に進めている、ということが書けない児童が多かった。

☆国語 B「活用」に関する問題

- 4ニア、イは作戦カードをもとにチームの攻め方を説明する問題である目的や意図が伝わるように話の組み立てを工夫しながら説明することができなかった。

◇課題等

- 課題1 司会の役割はみんなの意見を聞き、まとめて計画的に進めることである。普段から誰もが経験する機会をもつこと。
- 課題2 伝えたい目的や意図が伝わるように話の内容を順序良く、誰がどうするという説明ができるようにする力を育てること。

◎ 課題に関連する単元とその背景にある問題点

【課題1】 ≪A 知識に関する課題≫

◇関連する単元

3年：「分類ということ」、4年：「話し合って決めよう」、5年：「どんなときに、だれに」

◇背景にある問題点

- ▼ 児童一人一人が司会を経験する機会が少ない。
- ▼ 司会としての意見を整理し、処理する力が不足している。

【課題2】 ≪B 活用に関する課題≫

◇関連する単元

3年：「道あんないをしよう」、4年：「伝え合うということ」、5年：「人とものとの付き合い方」

◇背景にある問題点

- ▼ 図表や資料を適切に用いることができない。
- ▼ 文を読んだり書いたりする機会が少ない。

課題1の対応策

指導のねらい

- ・ 話題に対する自分の考えを相手に分かりやすく伝えたり、友達の意見と自分を比べて話したりすることができるようにする。

授業例

4年「話し合って決めよう」

学習内容・活動	指導上の留意点
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">自分の考えをはっきり伝えよう。</div>	
1 本時の学習内容を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いは2グループずつ交代することの確認 ・ 話し方・聞き方の観点の確認 ・ 話し合いの時間と話題の確認 2 二箇所に分かれて話し合いを行う。 (話題例)・学級文集の名前を決めよう <ul style="list-style-type: none"> ・ お楽しみ会の内容を決めよう ・ 2分の1成人式の内容を決めよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな意見を出して活発な話し合いができるようグループの人数は7～8人とする。 ・ 聞き手には、話し合いの内容やよい点を注意して聞き、自分の意見が話せるよう指示する。 ・ 司会には、安心できるよう話し合いの手引きを持たせる。 ・ 話すことが苦手な児童には、安心感を持たせるためワークシートを見てよいことを助言する。 ・ 教師はそれぞれのグループを回って、観点に沿って発言している児童やよい点をチェックするとともに、司会への助言を行うようにする。

少人数グループでの話し合いを話題を変えながら何度も行うことで、司会や話し手を、誰もが体験できるようにする。

課題2の対応策

指導のねらい

- ・ 調べた結果や自分で考えたことについての構成メモをもとに、文章の組み立てを考えながら報告文を書くことができるようにする。

授業例

4年「調べたことを知らせよう」

学習内容・活動	指導上の留意点
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">組み立てメモをふくらませながら、ほう告文の下書きをしよう。</div>	
1 本時の学習内容を確認する。	
2 報告文の書き方を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 段落構成(初め・中・終わり) ・ メモ→文 ・ 接続語 ・ 敬体と常体 3 段落の構成順に従って下書きをする。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 各自で下書きをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 下書きが終わったら、再度読み返す。 (2) グループで読み合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ よい点をメモで賞賛する。 4 全体で、下書きについて話し合う。 自分の下書きに生かせそうな点があれば、書き加える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続語の例を黒板に示し、自分の下書きに生かせるようにしたい。 ・ 一段落を書き終える毎に、振り返りカードで文章を確かめさせ、自分の書き間違いを訂正する習慣をつけていきたい。 ・ グループで読み合うことで、友達の文章のよい点に気づかせ、自分の文章に生かそうとする意識を持たせたい。